

2020 年度秋学期 授業実施方法変更によるシラバス変更について

2020 年度秋学期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ゼミナール科目（プレ・ゼミナール、ゼミナールⅡ）を除く、全ての開講科目を遠隔（オンライン授業）に変更いたしました。ゼミナール科目は、対面授業とオンライン授業を融合したハイブリッド型授業として実施します。

そのため、当初予定されたシラバスの以下の項目に変更が生じる場合がありますので、秋学期開講の全科目について修正後のシラバスを作成いたしました。元のシラバスに記載のない「授業実施方法」、「授業の進め方」についても新たに記載しています。

なお、対象となっていない項目は、元のシラバスから変更はありません。

【変更対象項目】

- ・「評価方法」
- ・「評価基準」
- ・「運営方法、教育手法」（「授業計画」欄）
- ・「準備学修（予習・復習）」（「授業計画」欄）

元のシラバスからの変更有無については、各項目の先頭に記載があります。

【追加項目】

- ・「授業実施方法」

以下の 4 種類に分けて記載しています。

- ① 主に Zoom を用いたリアルタイム型の授業
- ② 主に音声付のパワーポイントや映像配信などを用いたオンデマンド型の授業
- ③ 主に音声や映像はなく提示された資料を読んで課題を解くオンデマンド型の授業
- ④ ①～③の組み合わせ（具体的な内容が記載されています）

その他特記事項

- ・「授業の進め方」

オンライン授業として、授業がどのように進められていくか記載されています。教員からの資料掲出方法、履修者の課題提出方法等についても記載があります。

以上